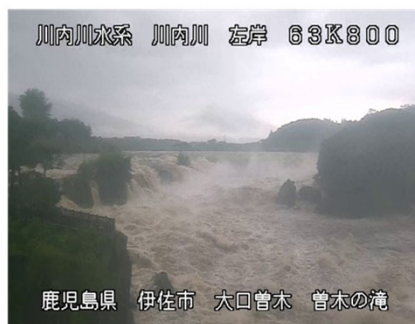


○. 防災操作の効果 鶴田ダム(川内川水系川内川)

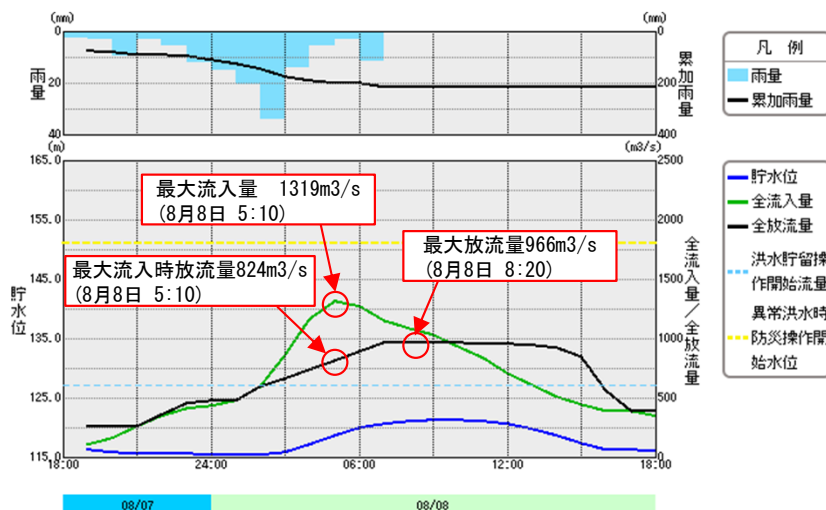
- 前線に伴う豪雨により、鶴田ダム上流域において、8月6日～8月8日までの総雨量は215mmを観測しました。
- 鶴田ダムでは、8日2時10分より、ダムへ流れ込む水量の一部を貯める「洪水調節」を行いました。
- ピーク流入量は約1320m³/sを記録しその際ダムにより約500m³/sを貯留して下流河川の増水を緩和しました。
- 鶴田ダムが無かった場合の宮之城水位観測所の水位は、はん濫注意水位(5.20m)を上回る6.12mに達していたと想定されダムの洪水調節によって約0.70m水位を低下させたと推定されます。



ダム上流「曾木の滝」の状況(8日6時00分頃)



ゲート放流状況(8日6時00分頃)

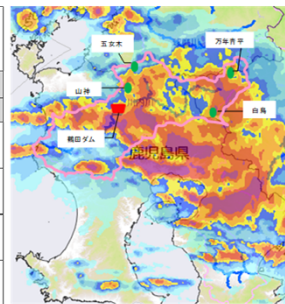


◆ 降雨の状況

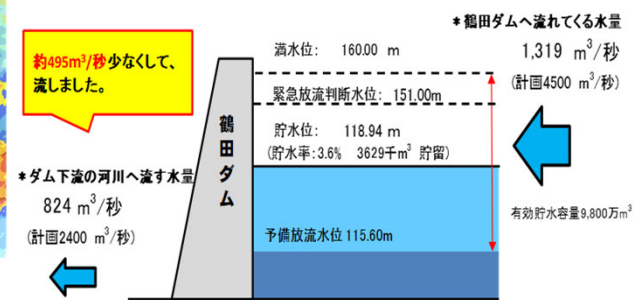
鶴田ダム上流域の主な観測地点の雨量

(8月6日2時～8月8日10時)

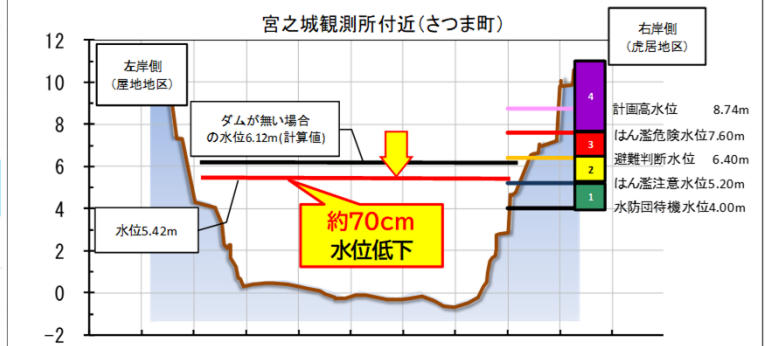
所在地	観測所名	観測値(累加) mm
宮崎県 えびの市	白鳥 (しらとり)	235.0
鹿児島県 伊佐市	五女木 (ごめき)	178.0
宮崎県 えびの市	万年青平 (おもとだいら)	168.0
鹿児島県 伊佐市	山神 (やまのかみ)	242.0
鶴田ダム上流域の平均累加雨量		215.2



◆ 鶴田ダムの状況 (8月8日5時10分 最大流入時点)



◆ 宮之城付近での鶴田ダムの水位低減効果(8月8日4時50分)



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります